

『記憶をつなぐ思い出の公園』



久留米工業大学 工学部 建築・設備工学科
3年 井下 佳那
1年 木下 聖奈

アイディアのきっかけは...





世の中で起きてる事が人の心を暗くしていると思いました



心の病で本人とその周りの人が不安を抱えています



SNS の悲しい言葉で心を痛めている人がいます

世界にも目を向けると...



戦争で苦しんでいる人や国があります



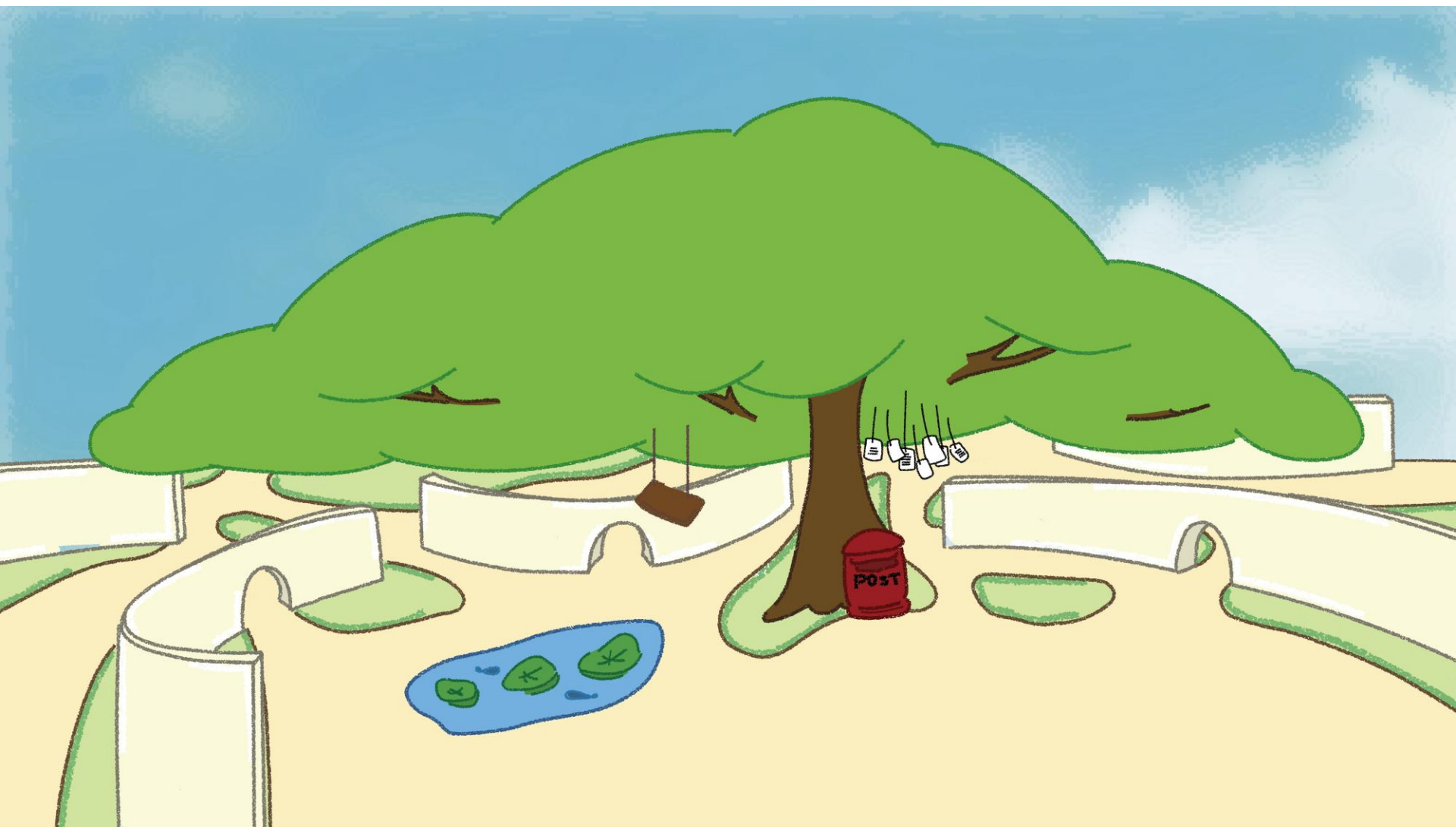
暗い世の中の状況に悲しく思いました

夢がある幸せがあふれる場所が必要だと考えました



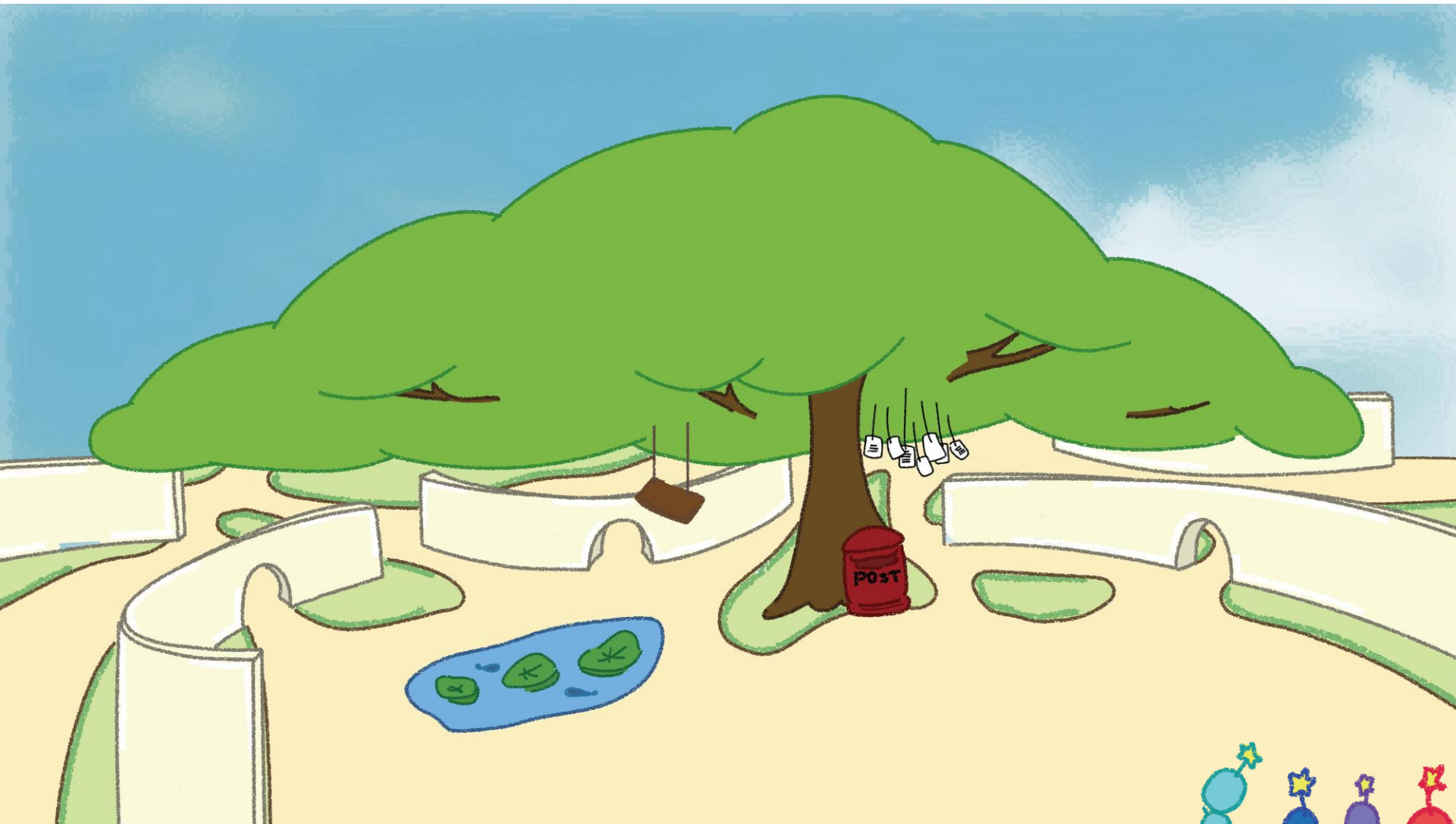
暗い世の中の状況に悲しく思いました

夢のある幸せがあふれる場所が必要だと考えました



それは『記憶をつなぐ思い出の公園』

『記憶をつなぐ思い出の公園』



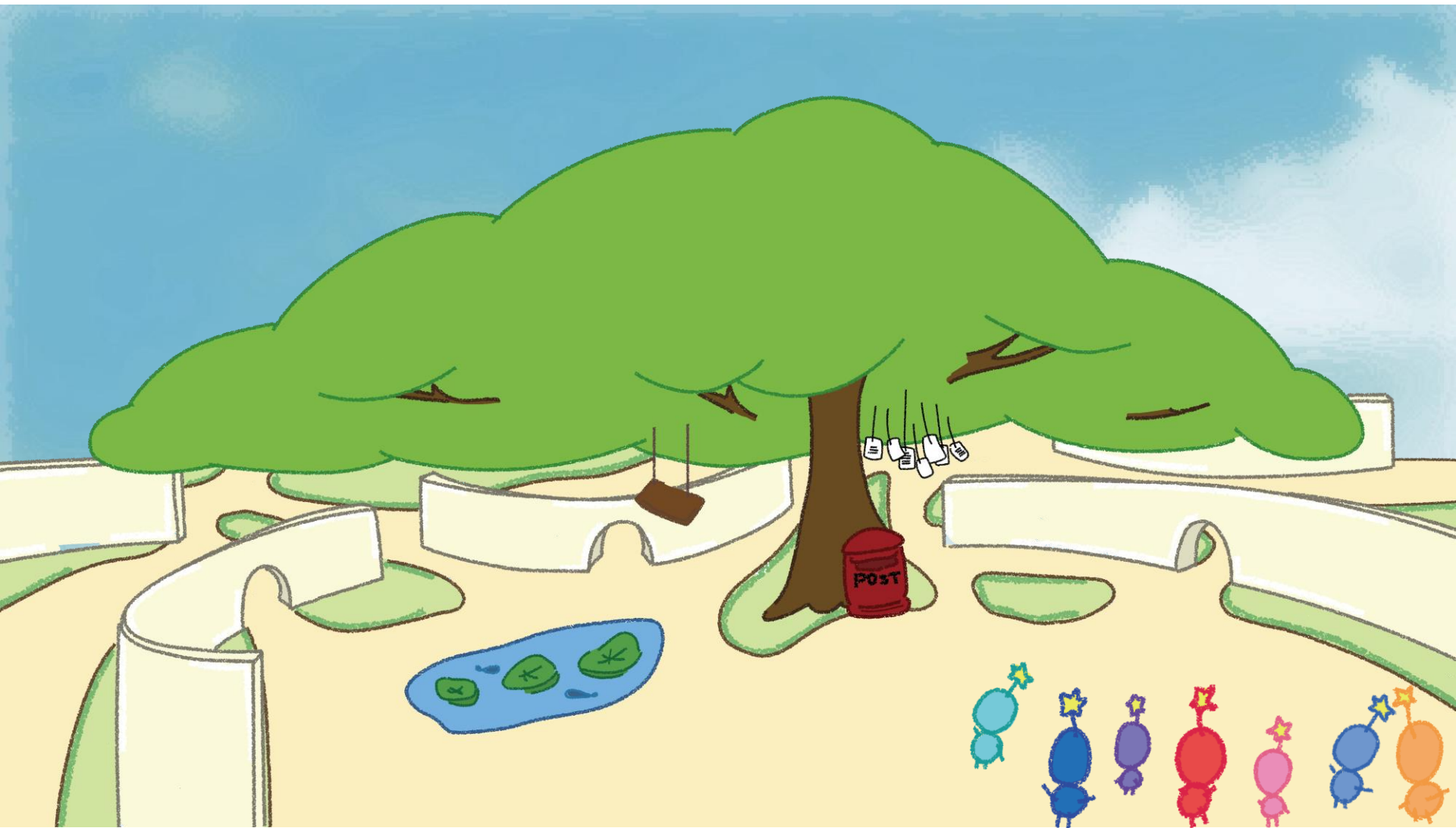
???? 「とことことことこ

『記憶をつなぐ思い出の公園』



かなちゃん「あれ??どこからか足音がきこえてくるよ」

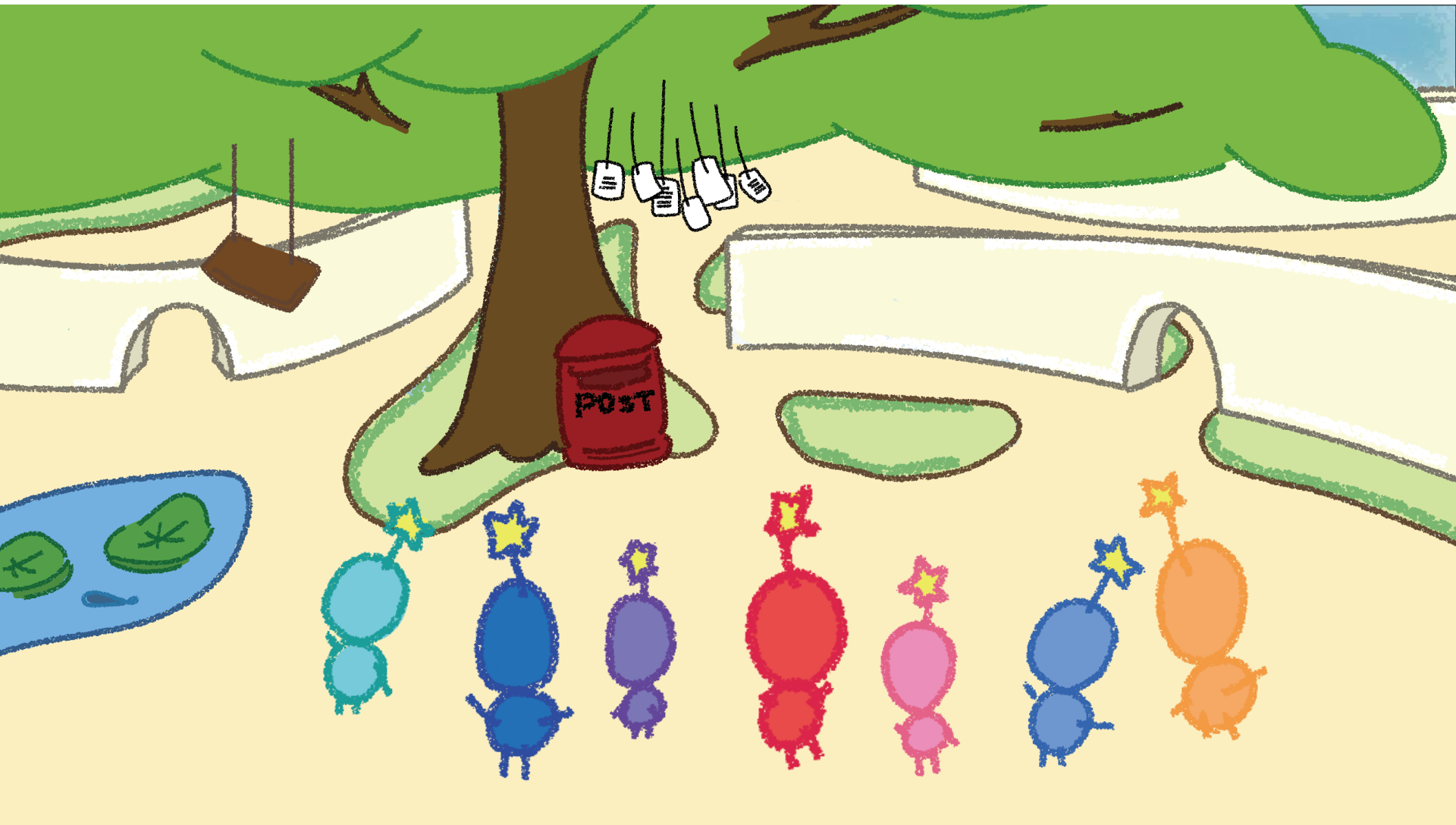
???? 「とこととこととこ

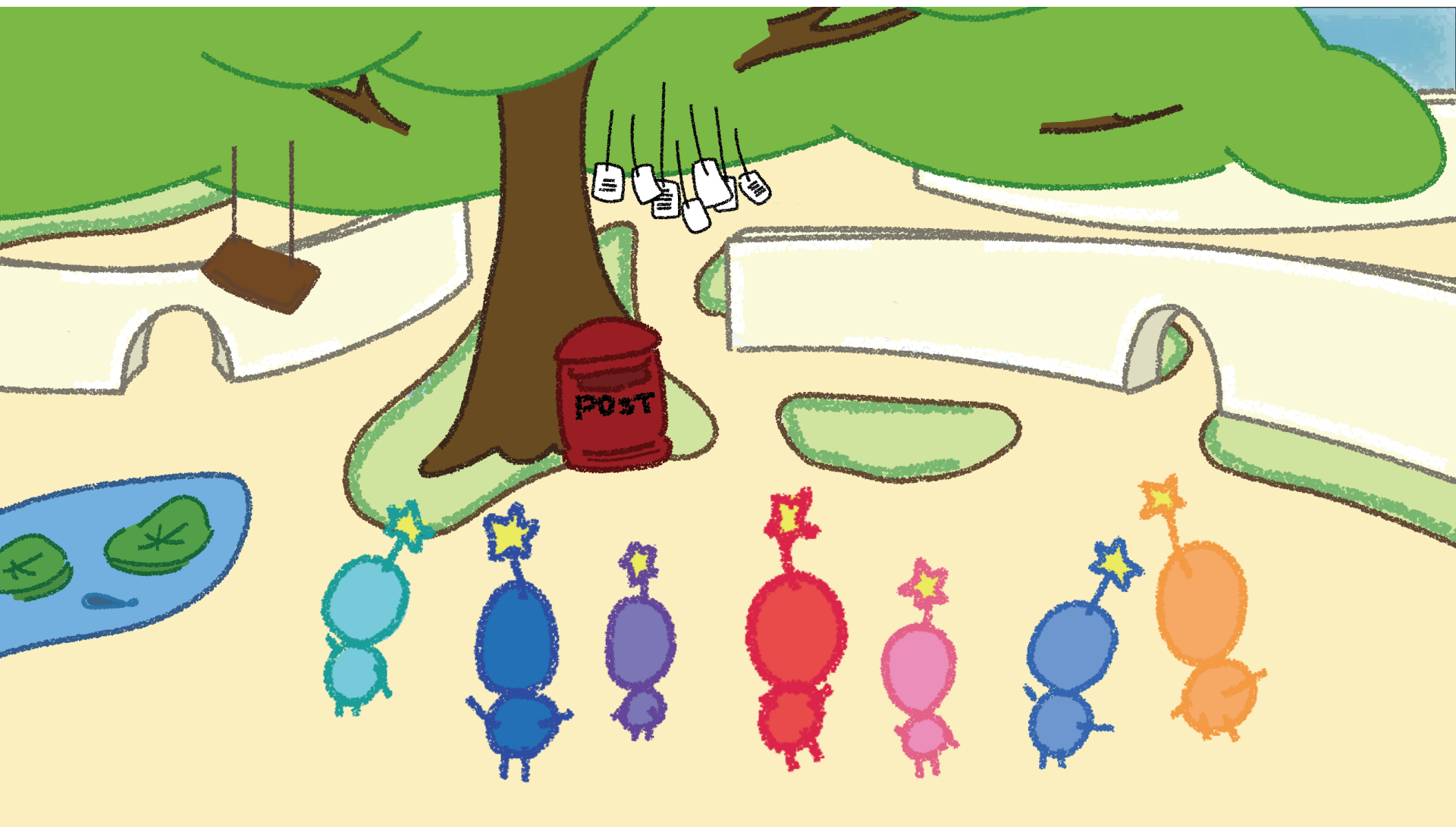




かなちゃん「あれ？誰だろう？」

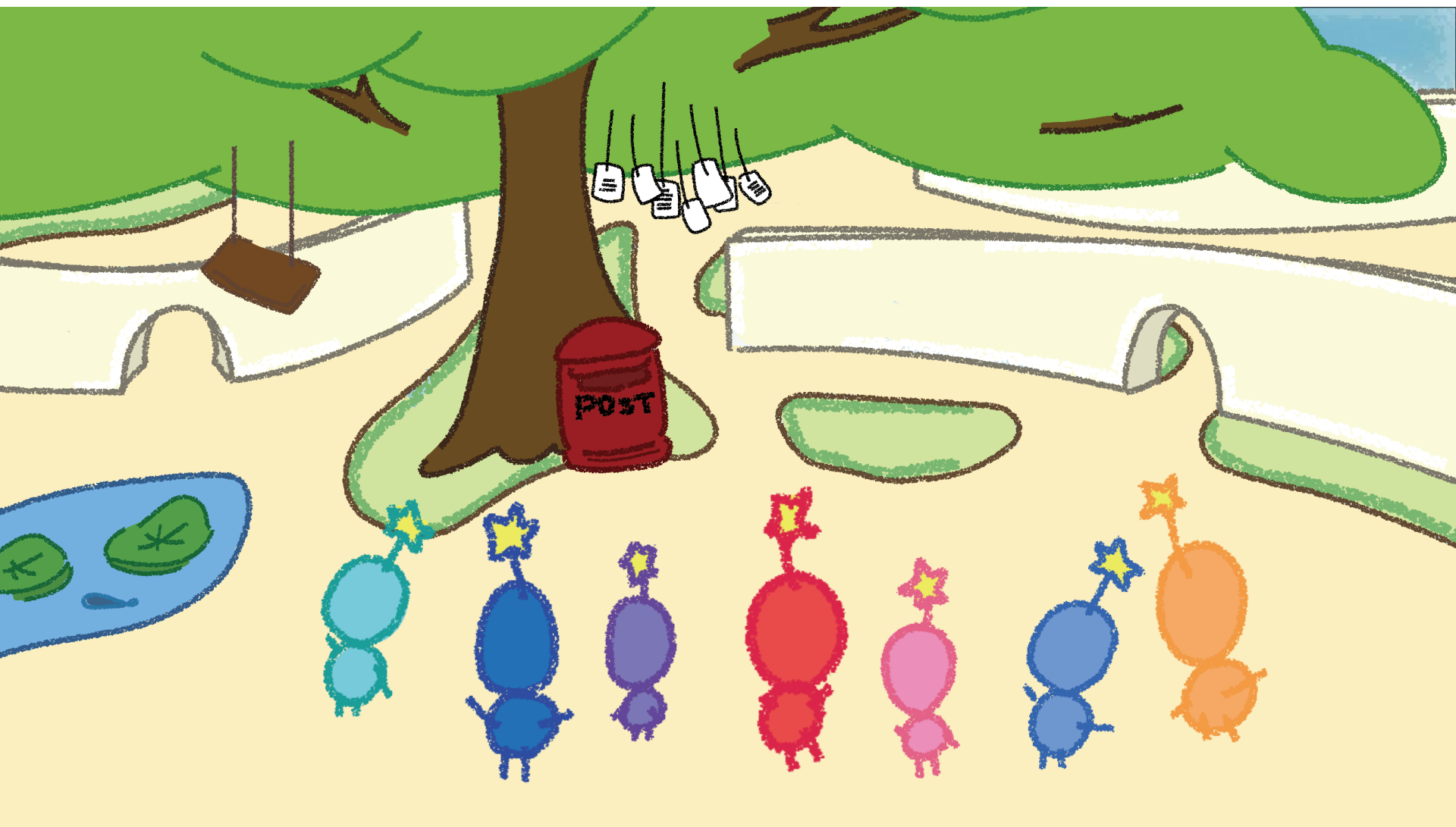
ピカりん「こんにちは！僕たちはピカりん！！！」





かなちゃん「きみたちはどこからきたの？」

ピカりん「この公園からきたよ！」



かなちゃん「そうなんだ！その公園のことを知りたいな！」

ピカりん「じゃあ一緒にまわってみよう！！」



かなちゃん「説明よろしくね！楽しみだな～」

ピカりん「まず、公園に来ると僕たちがお出迎えするんだ！」

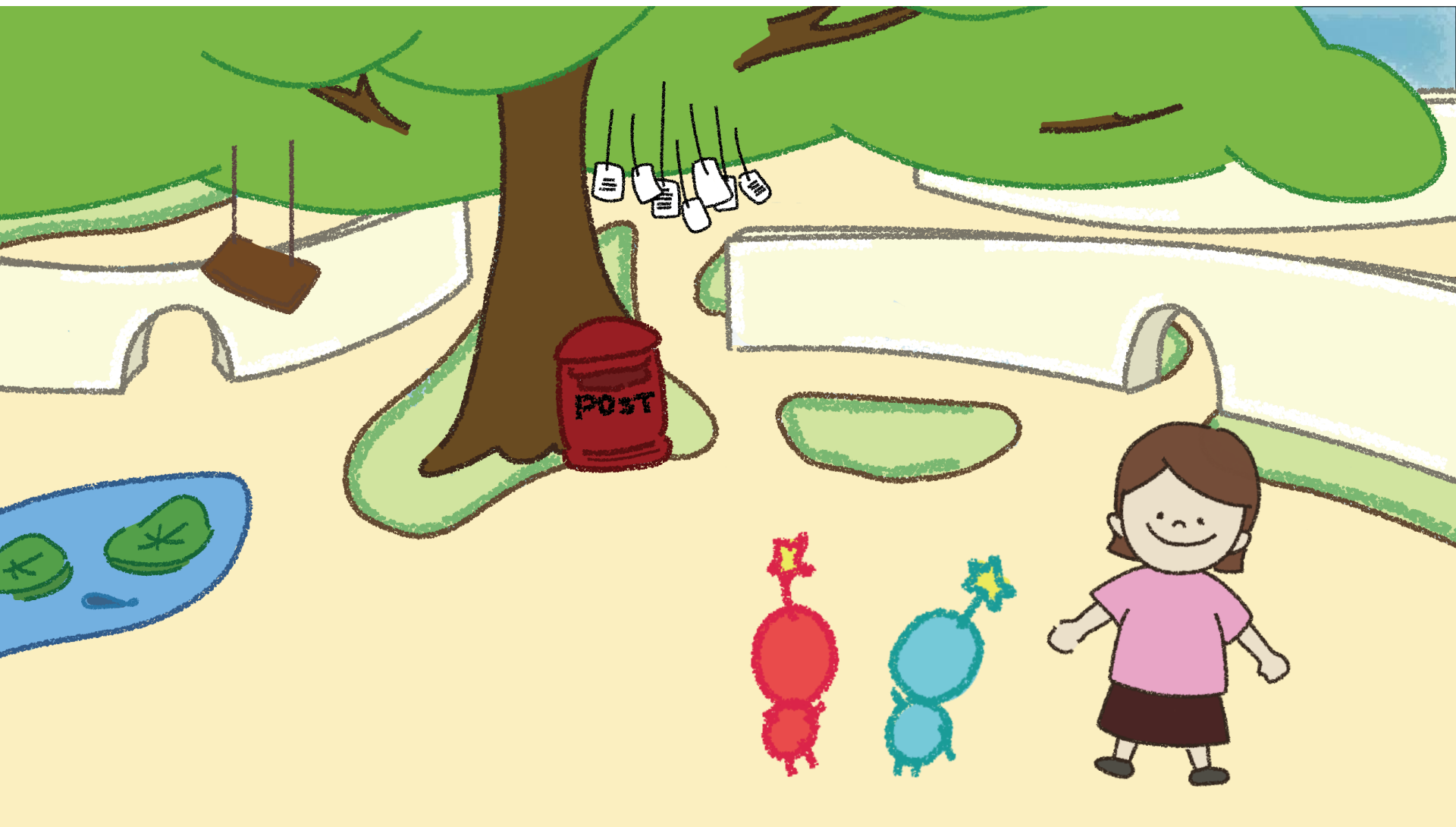


ピカりん「今日の気分を伝えると
きみにぴったりのコースを案内するよ！」



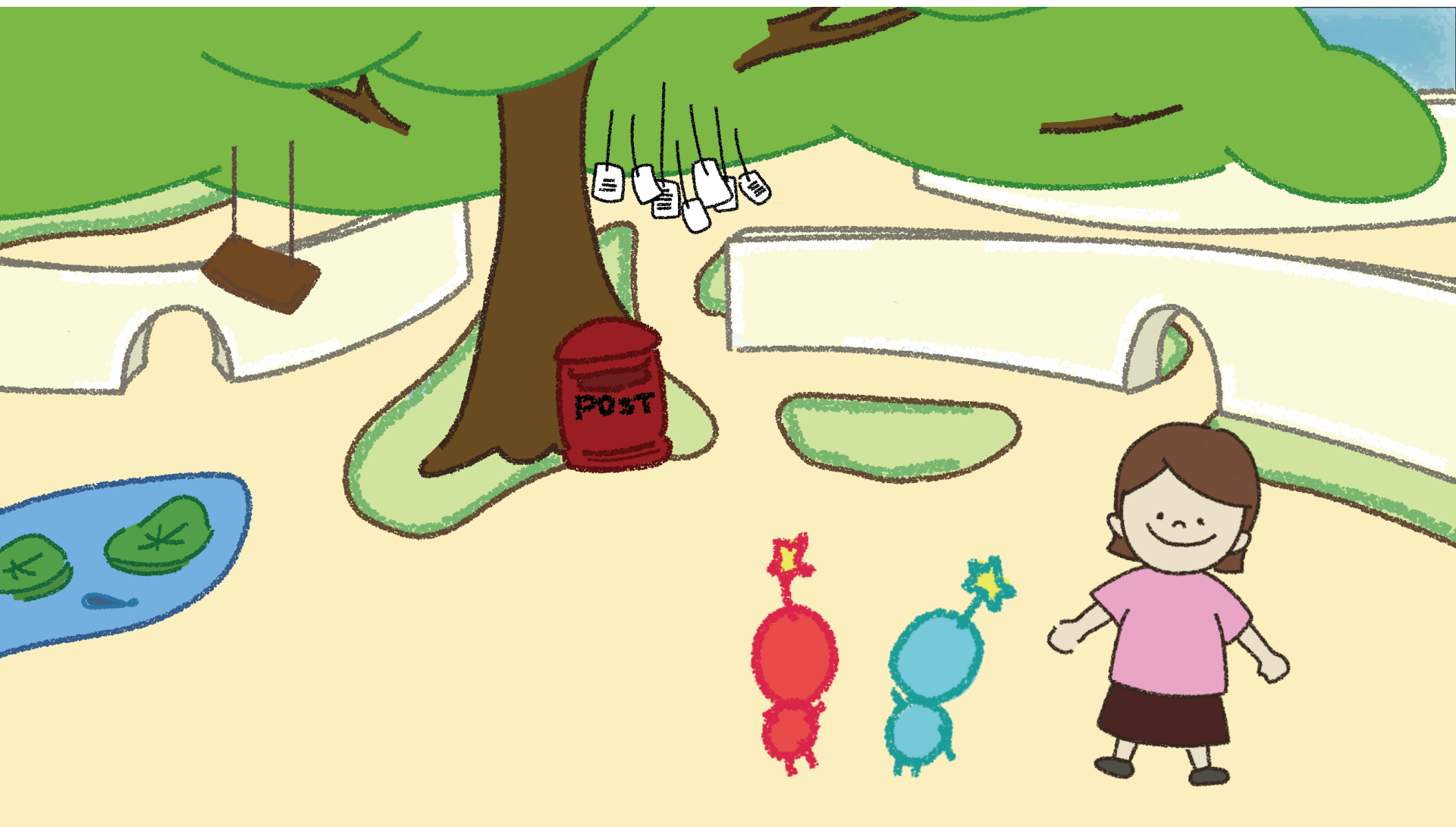
かなちゃん「すごい！みんなにあったコースが見つかるんだね！」

ピカりん「そうだよ、きみの今の気持ちはどんなかんじ？」



かなちゃん「今日は朝から緊張してるんだよね～」

ピカりん「それなら、みんなの幸せ話を知れるコースを案内するね！」



かなちゃん「うん！みんなの幸せをわけてもらおうかな！」

ピカりん「これは、らくがきうおーるっていうんだ！」



かなちゃん「わあすごい！ただの壁じゃなくてみんなのメッセージや絵がかかっているんだね」

ピカりん「うん！ここにきた人の楽しい思い出や
エピソードが記憶されるんだ！」



ピカりん「みんなの幸せパワーで、僕の頭の上の星が光るんだ！」



かなちゃん「おおお！とってもきれいだね！」

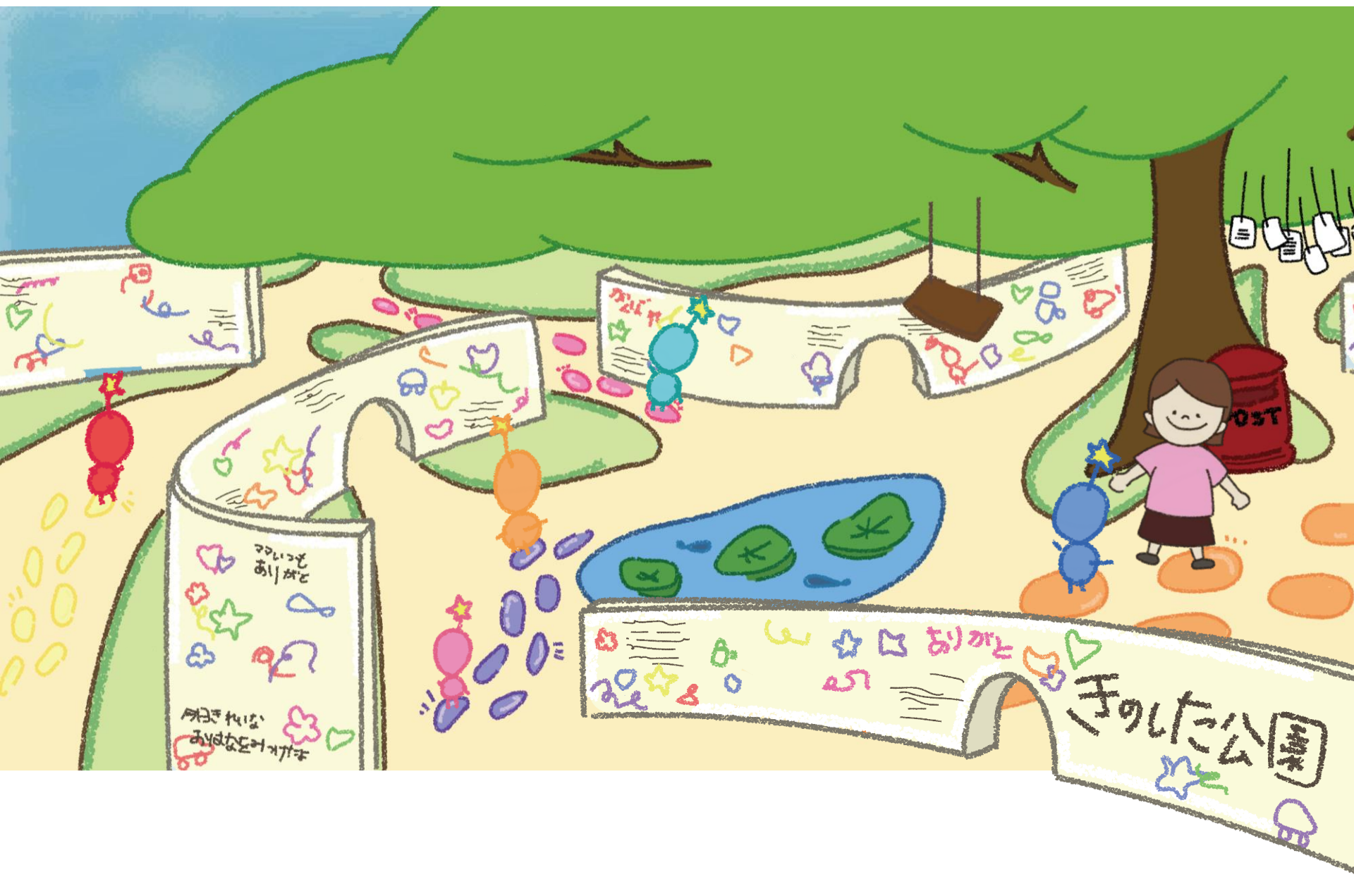
ピカりん「ねえねえ、次はここを歩いてみて！」





かなちゃん「すごい！音がなってる！」

ピカりん「みんなが楽しくなるように、上を通ると音になるんだ！」





かなちゃん「あれ！あの赤いやつは何？」

ピカリん「これはあかいぼすにとっていうんだ！
ここには送りたい人に向けて手紙をかいていれてね！」



かなちゃん「手紙はどこに行くの？」

ピカりん「上を見てみて！」



ピカりん「僕たちがみんなの手紙をこの木に飾るんだ！」



かなちゃん「みんなからお返事がもらえるんだね！」

ピカりん「そうだよ！みんなの幸せを集める公園なんだよ！」



かなちゃん「みんなの幸せがピカりんの星を育てるんだね！」

ピカりん「その星がみんなのまちをてらすんだ！」



かなちゃん「えー！！見てみたい！！」

ピカりん「今日は特別に夜の景色も見せてあげる！」



かなちゃん「やったー！ 見たい見たい！」

ピカりん「じゃん！これが夜の公園だよ！」



かなちゃん「あ！ピカりんがのぼってる！」

ピカりん「こうやって木に星を集めるんだ！」



ピカりん「こうやって木に星を集めるんだ！」

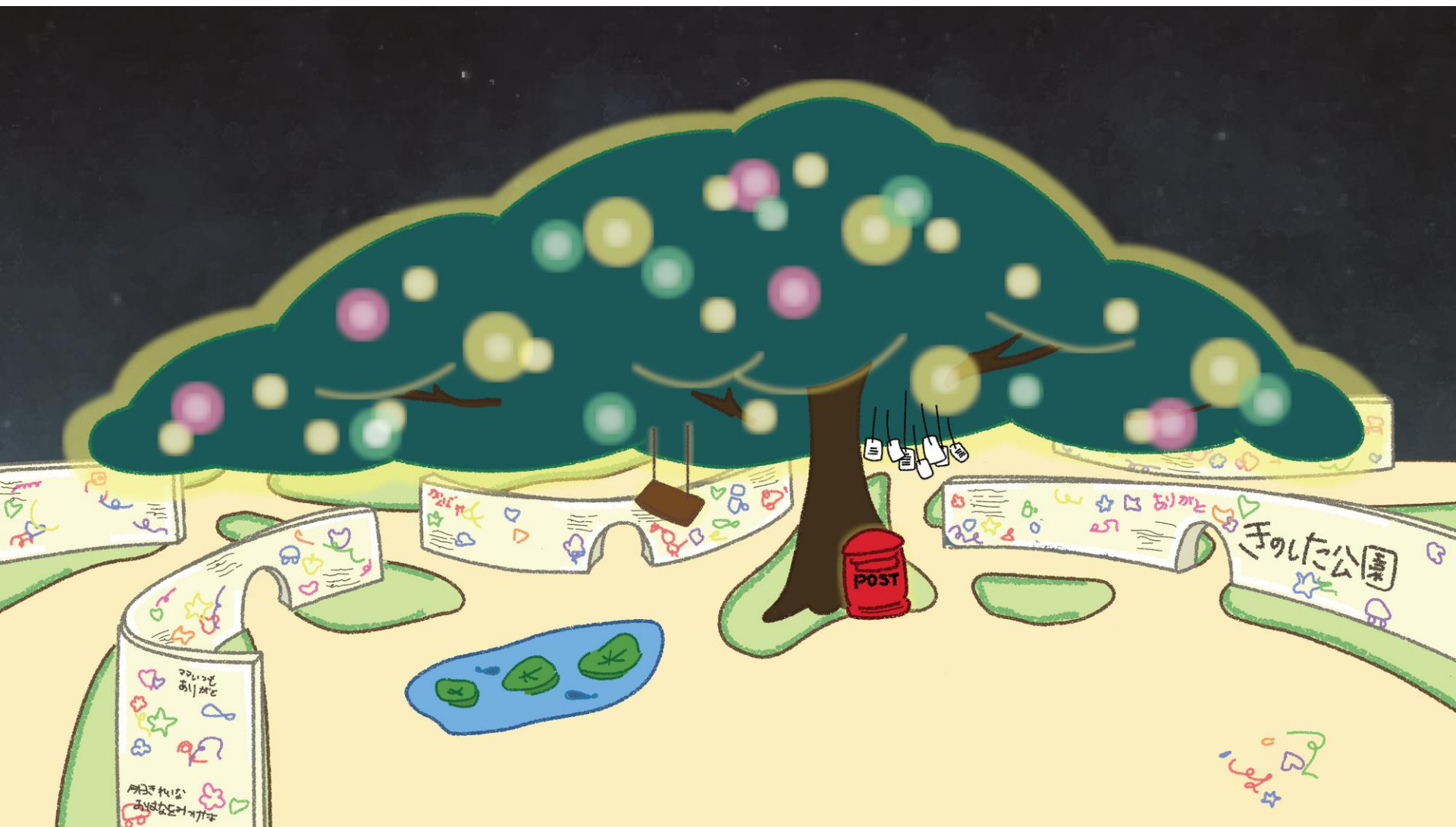


ピカりん「見て！これがみんなの幸せパワーだよ！」



かなちゃん「すごく明るくてきれい！」

ピカりん「こうやって公園の力でまちをあかるくするんだ！」



かなちゃん「この公園から世界が明るくなるんだね」

この公園のように日常の幸せから世界を明るくできると考えています



みんなの心が明るくてられますように